

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実 施 事 業	事務事業名 登別市スポーツ少年団育成助成金
----------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす
施策	1	生涯にわたるスポーツ活動の推進
小分類	3	競技スポーツの推進
主要な施策	1	選手の育成
事務事業番号	001	事務事業コード 54131001 事業開始年度 昭和 4 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	登別市スポーツ少年団育成助成金
------	------	------------	-----------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 少年の体力づくりやスポーツ技術の向上、交流などを通して、健全育成を図る。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 子どもたちのスポーツ振興を図るスポーツ少年団本部の活動を支援し、助成金を交付する。 【登別市スポーツ少年団本部の主な事業】 スポーツ少年団育成事業 リーダー養成事業（各種交流会・研修会への参加） 競技別交流会 指導者・母集団要請事業 単位事業 姉妹都市交流事業支援等
成果	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> ジュニアリーダー研修会やスポーツ交流会など、積極的な活動が展開されており、少年の体力づくりやスポーツ技術の向上が図られている。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 登別市スポーツ振興基本計画

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実 績	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標	26年度 目 標
成果 指標	少年団加盟単位団体数	団体	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	20				
	少年団加盟者数	人	目標値	360	360	360	360	360
			実績値	330				

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	500	500	500	500	500	1,500
合 計				500	500	500	500	500	1,500
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	17	17			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		17	17			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である	妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
	→	妥当ではない	
少年のスポーツ振興を図る登別市スポーツ少年団本部の支援は、必要と考える。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている	成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
	→	どちらかといえばあがっている	
	→	成果があがらない	
ジュニアリーダー研修会やスポーツ交流会など、積極的な活動が展開されており、少年の体力づくりやスポーツ技術の向上が図られている。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる	どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？
	→	少し向上させることができる	
	→	向上させることはできない	
少子化社会の背景はあるが、今後の「総合型地域スポーツクラブ」との連携により、スポーツに関する啓発を行うことで、地域のスポーツ人口の維持・拡大が図られる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる	どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？
	→	削減できない	
少年たちの体力づくりやスポーツ技術の向上を図る、登別市スポーツ少年団本部への助成金の削減は難しい。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	少年のスポーツへの関心が高まっている中、少年団本部の役割は重要であり支援することが必要である。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）